

第10回奈良便教会

2016年5月28日(土)

第10回奈良便教会を開催しました。初めての参加の方が4人。13人で活動することができました。愛知県から高野先生をはじめ、3人の方が参加して下さり、その想いの温かさに、胸がいっぱいのスタートでした。

初参加の方が4人。そこにも大きなうれしさがありません。緊張した面持ちの始まりでしたが、自己紹介の時点で皆さんの大きな覚悟、想いの強さを感じました。大阪から初参加の2人の先生は、最近鍵山先生のDVDを見たことから今回の参加に至っらしいです。すごいタイミングです。また高野先生の教え子の方、その友達。高校時代にトイレ掃除をされており、またまたびっくりです。便教会を開催させていただいている私は、本当に幸せ者です。



左の写真はスタートすると同時の光景です。道具の使い方や掃除の手順は何一つ説明しませんでした。始める前に話させていただいたことは2つ。

①道具を丁寧に大切に使うこと。

②道具もその場も傷つけないこと。

それだけなのに、皆さんは何の躊躇もなく、便器に向き合い、初めての方も見よう見まねで黙々とされる姿が印象的でした。「まねる」→「学ぶ」につながられていました。

「床のタイル一枚を磨き上げることだけでも、すばらしいことです」と高野先生に教えていただきました。道具にもまだまだ、その場に合ったものがある。それが「傷つけない」ことにもつながると感じました。同時に、工夫することの大切さを改めて感じました。





徹底した床の拭き上げ。良い天気で気温も高く、拭き上げしたあとには水気もなく、靴下を履いても歩けるくらいでした。最後の拭き上げの大切さも大きな気づきです。

今回参加者の方の感想に、休日にもかかわらず、こうして集まれることだけでも素晴らしい。感謝します。とありました。本当に同感です。年齢も所属もちがう。ただ学びたい、キレイにしたいという同じ想いだけで集まる。有り難い限りです。

「キレイをひろげていく」高野先生からの温かいメッセージ。することに意味がある。継続することに意味がある。続けていくことが、その場を、身近にいる人を、様々なことを良い方向にしていけるのではないかなと感じます。そこに価値があるような気がします。

奈良便教会の「仲良く」を合い言葉に、これからもご縁ある方々と共に、継続していきたいと思えます。

(世話人：小峠大地)